

陳 情 書 等

件 名

山間地の交通問題に取り組んでいただくことに関する要望

2018年7月19日

宇治市議会議長 坂下 弘親 様

炭山区町内会

区長 富部 炎

### 山間地の交通問題に取り組んでいただくことに関する要望書

炭山地域は宇治市東部の山間地にあり、最寄りの鉄道駅（JR 六地蔵駅）から約 6km、バス停から約 4km の位置にある地域で、住民約 300 名が生活しています。しかし未だに公共の交通手段がありません。時とともに高齢化が進み、運転免許証の返納問題などもあり、住民の多くはこの地に住み続けられるだろうかと不安を感じています。中高生においても通学や塾通い・部活動などで大きな不便を感じています。住み慣れた地域で住みつづけたい、そのためには交通手段の整備が必要です。

宇治市の方針に「バスなどの公共交通の充実」（宇治市都市計画マスタープラン P. 90、2004 年策定、目標年次 2024 年）がありますが、具体化されていません。昨年、宇治市長あて要望書（「炭山地域における交通・まちづくりに関する要望書」、添付）にご回答をいただきましたが、要望の実現には程遠い状況です。議会としても炭山をはじめとする山間地の交通問題に取り組んでいただきますようお願いいたします。

## 記

1. 山間地を含むすべての住民の足を確保する立場から、山間地の交通問題に取り組んでください。

- (1)宇治市都市計画マスタープラン方針の具体化をすすめていただくこと
- (2)現在炭山が行っている「助け合い移動支援事業」を、住民任せでなく、市の責任と適切な関与（事業主体が市、運行委託先が地元運営組織で行うこと）で行っていただくこと
- (3)現行スクールバスを活用し、住民が利用できるようにすること
- (4)運転免許証を自主返納しにくい地域においても、安全な地域社会のためにも、運転免許証の自主返納が促進されるような支援制度を検討、実施いただくこと
- (5)その他、要望書で検討となっている事項

2. 議会および建設水道常任委員会で炭山の要望を取り上げていただき、ご審議いただくこと。

- (1)建設水道常任委員会でご審議いただくこと
- (2)議会で各会派から質問していただくこと

以上

### 【添付資料】

- (1) 宇治市長あて要望書（「炭山地域における交通・まちづくりに関する要望書」（2017年9月）、および市の回答書（2017年12月）
- (2) 炭山「助け合い移動支援事業」のとりくみ 紹介資料
  - ①炭山の取り組みを紹介した新聞記事（2016年12月3日 朝日新聞）
  - ②運転者の運行、利用者の利用状況、集計の数値
- (3) その他参考となる資料
  - ①宇治市都市計画マスタープラン 山間地域 地域づくり基本方針図 交通の方針（プラン冊子 P.90 より引用）
  - ②事例 兵庫県豊岡市 市町村運営有償運送（2016年8月 豊岡市役所訪問の報告）
  - ③事例 自動車運転免許返納者への支援策 「生きがい守る外出支援策」（2017年1月25日 朝日新聞）
  - ④事例 スクールバス活用
    - ・ 花巻市「東和地域スクールバスへの一般混乗制度」
    - ・ 北海道浜頓別町「スクールバスに“いっしょ乗り”スタート」
  - ⑤高齢者の移動手段の確保に関する検討会 中間とりまとめ概要（国土交通省 2017年6月30日公表）より「スクールバス等の混乗」、「市町村が主体となる自家用有償運送の活用の円滑化」などの具体的方策を提言